



平成 21 年 3 月 18 日

各 位

会社名 三井金属鉱業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 竹林 義彦
 (コード番号 5706 東・大・名・札・福)
 お問い合わせ先 広報室長 桜井若葉
 (TEL. 03-5437-8028)

業績予想の修正、特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩し、
 および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 1 月 20 日に公表した平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の連結業績予想、および平成 21 年 2 月 6 日の第 3 四半期決算公表時に未定としておりました配当予想を下記の通り修正いたします。

また、平成 21 年 3 月期において見込まれる、特別損失および繰延税金資産の取崩しについて、合わせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(金額の単位：百万円)

(1) 通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	426,000	△27,000	△32,000	△35,000	△61.24
今 回 修 正 予 想 (B)	426,000	△27,000	△32,000	△72,000	△125.97
増 減 額 (B - A)	0	0	0	△37,000	-
増 減 率 (%)	-	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	595,463	27,993	41,780	7,830	13.67

(2) 修正の理由

前回予想発表後、半導体実装材料である TAB テープ・COF テープ事業の抜本的施策について精査を進めてまいりました。この結果、当期において同事業における固定資産の減損損失 105 億円を計上することなどにより、特別損失が 126 億円増加する見込みであることに加え、業績悪化に伴う繰延税金資産の取り崩しにより、税金費用が 245 億円増加する見込みであることから、当期純利益を上記の通り修正いたします。

2. 特別損失の計上について

(1) 固定資産減損損失の計上

半導体実装材料である TAB テープ・COF テープ事業は、液晶関連用途における激しい価格下落、設備投資による減価償却費の負担増加等により営業赤字が続き、平成 20 年 3 月期において 177 億円の固定資産減損損失を計上いたしました。

平成 21 年 3 月期第 3 四半期以降は、世界的な景気後退の影響を受け、受注量の急激な減少に見舞われた結果、更なる営業損失の拡大が見込まれております。人員削減を始めとする、あらゆる合理化努力を重ねてまいりましたが、市場規模の縮小により今後も事業環境の改善は見込めないことから、当期において同事業の有形・無形固定資産の減損損失 105 億円を計上する見込みとなりました。

(2) TAB テープ・COF テープ事業の今後の見通し

来期以降において、TAB テープ・COF テープ事業における収支均衡を目指し、以下の施策を実行してまいります。

① 生産拠点の統合集約

[製造拠点]

- ・ 下関第一工場および大牟田工場を下関第二工場に集約した上で、当社が強みを持つ 3 層品 (TAB テープ) および一部の 2 層品 (COF テープ) のみの生産を行う。
- ・ 今後の需要見通しに合わせ、下関第二工場を従来比 4 割削減した生産体制 (約 75 百万個/月) とする。

[検査拠点]

- ・ 検査工程については、大牟田および台湾拠点の 2 拠点に集約する。

② 将来に向けた事業の方向性

- ・ 将来の事業継続については、収益およびキャッシュフローを充分確保することを前提とし、今後あらゆる可能性を検討する。

3. 繰延税金資産の取り崩しについて

上記の半導体実装材料 (TAB テープ・COF テープ) 事業にかかる特別損失計上に伴う、当期業績見通しの大幅な悪化を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、第 3 四半期末に計上していた繰延税金資産のうち、209 億円を取り崩すことといたしました。これにより当期の法人税等調整額を含めた税金費用は 127 億円となる見込みであります。

この結果、税金費用は前回予想に比べ 245 億円増加する見込みであります。

4. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年2月6日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 (未定)	円 銭 (未定)
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期(平成20年3月期)実績	—	—	—	12.00	12.00

(2) 修正の理由

当社は、平成21年2月6日に発表いたしました平成21年3月期第3四半期決算短信において、半導体実装材料(TABテープ・COFテープ)事業の抜本的施策により発生が見込まれる特別損失額の精査が完了していないことを理由に、期末配当予想を「未定」とさせていただきましたが、上記2.「特別損失の計上について」および3.「繰延税金資産の取り崩しについて」により、多額の当期純損失を計上する見込みとなりました。このため、株主の皆様には大変ご迷惑をお掛けし誠に遺憾に存じますが、期末配当を無配とさせていただきます。

今後は、強固な収益基盤をいち早く確立すべく、経営合理化および事業の構造改革を完遂し、復配に向けて努力いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上